

学校だより

以下に記載の学年は、各学校行事実施時のものである。

2022年1月から4月までの資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

- 1月21日 実用英語検定1次(全年生)
- 1月23日 技能士シーケンス制御 作業3級学科(2年電気科)
- 1月25日 技能士シーケンス制御 作業3級実技(2年電気科)
- 2月6日 技能士シーケンス制御 作業3級実技(3年電気科)
- 2月6日 技能士機械検査作業3級 学科(2年全科)
- 2月10日 技能士普通旋盤作業3級実技(2年機械科)
- 2月11日 技能士機械検査作業3級実技(2年全科)
- 2月20日 実用英語検定2次(全年生)
- 3月20日 品質管理(QC)検定(1年電気科)

技能五輪交流会

技能五輪で活躍できる選手の育成を目的とし、現役指導員と2年生との交流会を2回実施した。1月21日に2年生全員を対象に体育館で実施



した1回目では、5事業所から指導員と事務局担当者13名に来校いただき、①事業所概要、②指導体制、③実施職種、④訓練内容についての説明の後、生徒との質疑応答を行った。また、突然の降雪に見舞われた3月22日に校舎教室で実施した2回目では、5事業所の指導員14名と、技能五輪に意欲や興味のある2年生51名を、職種別に9グループに分けて意見交換した。

参加した生徒から指導員に対して多くの質問が出され、技能五輪に取り組むための心構えや必要なスキルミスをした時の対策やリフレッシュ方法など、より一層の理解を深めることができた。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながらの開催だったが、ご協力いただいた事業所の皆様ありがとうございました。

技能五輪電気溶接県大会

2月4日に技能五輪「電気溶接職種」茨城県大会が、本校、日立ビルシステム、日立事業所の3会場で実施された。今大会は、2022年度技能五輪全国大会の予選を兼ねており、本校からは技能五輪部の2年溶接科佐藤拳が出場した。厳粛な雰囲気の中で課題製作であったが、今までの練習の成果を十分に発揮した課題作品を提出することができた。

2年溶接科 技能五輪部 佐藤 拳
県大会に出場して一番印象に残ったことは普段の練習通りに作業することの難しさです。当日はガチガチに緊張してしまい、競技開始の合図がかり、作業が始まってからも手が震えてアークを安定させることが出来ませんでした。序盤で小さなミスをいくつかしてしまいましたが、気持ちを切り替えて、諦めずに最後までやり切り、課題作品を提出することができました。これからは今回の経験を元に、11月の全国大会に向けて今まで以上に努力していきます。

危険物取扱者甲種合格

この度、2年機械科郡司煌都が本校で2人目の危険物取扱者甲種に合格した。甲種は全ての危険物を取り扱うことができる免許で、大学を卒業した社会人でも合格が難しい。受験資格は、高校生の場合、乙種6種類のうち4種類を所持している必要がある。



2年機械科 郡司 煌都
危険物取扱者甲種の資格取得が日専校で2人目となり、とても嬉しく

思っています。合格することができたのは、学校の先生のサポートと仲間への応援があったお陰であり、心から感謝しています。今後の目標として、今年度の11月にある、技能五輪全国大会に、日専校技能五輪部の選手として、旋盤職種で出場できるように、残り少ない時間ですが、しっかりと訓練していきたいと思えます。

2年生宿泊研修

2年生が2月22日〜25日の4日間、軽井沢プリンスホテルスキー場にて宿泊研修を行った。大自然のなかでのスキーにより、技術、健康、体力の向上をはかり、校外生活により、社会に適応した態度やモラルを学んだ。日中のスキー研修だけでなく、ホテルに戻った後も生徒主体で、学



校生活を向上させるための様々な研修を行った。
テンプルマナー研修も含め、スキースクールやホテルの皆さんから生徒への賛辞をいただき、自分たちの実践の確認ができた。

1年生OB交流会

3月1日に7事業所から対面、2事業所からリモートにて、OBの先輩方に参加していただき、1年生全員とグループディスカッションを行った。テーマは、「日立で働く誇りと幸せ」「現場に必要なマインドとスキル」「安全の重要性」で、先輩方の体験談を聴き、質疑応答を行った。最後に職員と先輩方との全体会を行い、本校の安全教育の取り組みについて賛辞をいただいた。

交流会の内容は生徒がグループごととGoogleスライドにまとめ、
(15頁へ続く)

(14頁の続き)



3月14日には校内で報告会を実施し、先輩方の話を1年生全員が共有した。2年次には、交流した先輩方の職場を訪問し、現場の様子を見学したいと考えている。

1年生宿泊研修



1年生が3月9日、10日の2日間、茨城県立白浜少年自然の家、なめがたファーマーズヴィレッジ、フォレストアドベンチャーつくば、筑波山ハイキングなどで宿泊研修を行った。「現場で活きる団体行動訓練」「寮生活の経験を活かす」「自ら考え動く『考動アクション』の実践」などを目的に、学校生活で学んだ経験を校外で実践する研修であった。各所で生徒の取り組み姿勢に賛辞をいただき、生徒にとって自信が得られる研修となった。

剣道初段審査会

3月13日に茨城県立武道館で、初段から三段までの昇段審査会が行われ、県内各地域から約400名が昇段をめざして参加した。受審者の殆どが中学、高校の剣道部員であるなか、授業経験だけの受審は全国でも極めて異例のことである。



本校からは昨年12月の校内選考会で選ばれた2年生18名、1年生2名が初段にチャレンジした。審査課題は実技審査(切り返し、互角稽古)、形審査(日本剣道形、学科審査(課題レポート))である。生徒たちは授業の他、審査前の補習にも意欲的に参加し、本番では、これまでの稽古の成果を遺憾なく発揮し、氣迫溢れる立合いで、見事に全員が剣道初段に合格した。

代表者による工場実習発表会

3月15日に体育館で代表者による工場実習発表会を実施した。例年どおり各工場で3年生全員が実習内容をスライドにまとめて発表し、その中から6名を選出した。最初は緊張した様子を見せていた彼らだったが、職場紹介、作業内容、改善事例などを交え、立派に発表できた。聴講した1、2年生からも各発表者に対し



て多くの質問があった。将来の就職先や実習について知る貴重な機会であるため、意欲の高さが伺えた。今年は聴く側だった2年生が、来年は伝える側になる。一見、毎年同じことの繰り返しのように思えるが、そのようにして大切なことが先輩から後輩へと引き継がれ、今の日専校があるのだろう。生徒たちの成長した姿が見られることを、また来年も楽しみにしている。

クラスマッチ



3月17日、18日にクラスマッチを実施した。今回も昨年同様、知力部門、スポーツ部門、技能部門をミックスさせた「知力・体力・技能総合クラスマッチ」と称して実施した。種目は知力部門から日立ウルトラクイズ、スポーツ部門からバレー、サッカー、バスケット、バドミントン、リレーの5種目、技能部門から配線

組立絆リレーの合計7種目で争った。個人の特性を踏まえてメンバーを選出し、クラスで協力しながら、團結する姿が見られた。この戦いを制したのは、7種目中5種目で1位を獲得した2年機械科が総合優勝、第2位が2年電気科、第3位が2年溶接科となった。2年機械科は2位に100点以上の差をつけるぶつちぎりの優勝であった。

日専校ならびに科技高卒業式

3月24日に、第107回日立工業専修学校ならびに第55回科学技術学園高等学校の卒業式を挙行了。当日は式典会場へ入場できない方のためにライブ配信も行った。

式典では日専校ならびに科技高の卒業証書授与、学校長と学校管理者から祝福と励ましの言葉、在校生の代表者から卒業生への感謝の言葉が(16頁へ続く)



(15頁の続き)

あった後、卒業生の代表として、生徒会長の 大野翔吾から、新型コロナウイルスによるニュージランド海外研修の中止等、様々な行事が中止や変更となる状況でも、常に前向きな気持ちで取り組んだ学校生活の話があった。最後に校歌を清聴して式典を終えることができた。

卒業生72名は日立グループの様々な職場に旅立ったが、日専校での考動アクションを通して培った人間力を大いに発揮し、将来の職場の中核人材として活躍することを期待している。

2年生トヨタ工業

学園とのリモート交流会

3月29日にトヨタ工業学園との生徒同士の交流会を通して、学校と生徒の強みや改善点を確認し、より主体的な学校生活(授業、実習、部活寮など)を送るヒントを得た。

内容は、

1 on 1、グループでのディスカッション、全体会での発表で、生徒たち自身が、何を知らなければならないか、何を身につけたいか、



どう変わっていくべきかなどについて、直接感じ取る機会となり、モチベーションの向上に繋がった。
2年機械科 生徒会長 片野 諒人
トヨタ工業学園の訓練生も私達と同じ企業内学校の生徒。会社の中で位置づけや学校生活に少しの違いはあったが、両校の生徒のMIS S I O N は「会社に必要とされる人材」となること。今回の交流会を通してトヨタの訓練生は私達よりも主体性が強いと感じた。日専校も誰かに言われてから行動するのではなく、生徒一人ひとりが「会社の戦力となる」という強い思いを持って生活してきた。

入寮、入学式

4月6日の晴天の中、各地から入寮のため日専寮に新生が集まった。午前中は、入寮説明会と自分の荷物を整理することから始まり、不安な表情の生徒や、期待からわくわくした表情の生徒と様々であった。

午後からは新しい制服に袖を通し、入学式に臨んだ。今年も新型コロナウイルス感染症防止のため、参加者を制限した。対策として、入学式の模様をライブ配信し、参加できない方々にも見ていただいた。

日専校上野校長、科技高吉田校長からは校長のこぼ、日立製作所執行役常務 Deputy CHRO、グローバル人材開発部田中部長から



は学校管理者のことばがあり、58名の新生は晴れて日専校生となった。これからの3年間、この学び舎でたくさんのご経験を成長し、世界に羽ばたく社会人をめざしてほしい。

新入生歓迎会、導入教育

新入生は4月7日から13日まで約1週間、3年間の学校生活の基本



となる導入教育が始まった。初日は、上野校長の訓話から始まり、様々な決まりや仕組みについての教育を受けた。午後は「新入生歓迎会」が実施された。これは入学を祝福されると共に、日専校の一員として認められる大切な行事であった。以後、ICT教育や部活紹介等のガイダンスを経験し、覚えることが多く、大変ななかで入学を実感したと思う。
4月15日は高鈴山ハイキングを計画していたが、残念ながら荒天に見舞われ体育館でのスポーツ大会となった。寮役員の3年生が企画立案し実施したが、新入生は先輩の頼もしい姿を見て、2年後の自分たちが「なるべき姿」を感じたことと思う。
今後3年間様々な経験を通して、日本のモノづくりを支える人材に成長して欲しい。

離任者紹介

北山 紀之先生 (92卒)

出身事業所… (株)日立ハイテク



担当：機械実習

3年間の在任期間の中で新型コロナウイルスの影響が大きくあり、時間をかけて生徒と向き合える時間が限られてしまいました。モノづくりの楽しさを伝えられたのではないかと思っています。今後、モノづくりを支える一員として成長してくれることを期待しています。

新任者紹介

真田 正孝先生 (86卒)



出身事業所… (株)日立ハイテク

日立グループのモノづくりを牽引していただける人材の育成に尽力してまいります。また、技能五輪候補となる生徒の基本技能を向上させ、技能五輪で活躍できる人材育成を図ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

日専校職員投稿

南口 隆

リビングで始まる親子の会話。子が父に、「なぜ日立という会社を選んだのか」と唐突に聞く。困った父は「この世にあるモノはみな、それをつくった人がいるんだ。どんなモノもみな誰かがつくったんだ。それがきくと誰かの役に立つと信じて」と答える。それに対し「何で日立なの」と突っ込む子。父は続ける。「日立は小さなモーターづくりから始めた。最初の社長が、人のためになるモノなら何でも自由につくれという人だったらしい。それが広がり、いろんなモノをつくりだしていった。自分たちがつくったモノが、誰かの役に立つって最高にうれしいことなんだ」まだ答えに納得しない (17頁へ続く)

(16頁の続き)

子に父はゆつくりと「つくる人になりたかった。だから日立を選んだんだ。どんなモノにもそれをつくった人の思いってのが詰まってるんだよ。」少し考えた後、子は別の質問をする。「父さん何をつくったの?」「番組が終わったら話すよ」と父。そして、先のストーリーを予見させる形でCMは終わる。

私はこれを見て、モノづくりに携わる人のやりがいや喜び、仕事に対する強い思いを伝える姿にたいへん感銘を受けた。そして思った。ここで描かれる父子は、まさに同窓会の先輩後輩だと。先輩が仕事の素晴らしさを説き、後輩がそれを尊敬する。どんなに世の中が変わってもこの繋がりは変わらないし、大切である。

どうか先輩の皆様、折りに触れ仕事の素晴らしさを説き、後輩を導いてください。日専校職員として心からお願ひします。最後に同窓会の発展と先輩諸兄のご健勝をお祈りしメッセージとさせていただきます。

(このCMは次のQRコードから御覧ください)



2022年度学校行事予定

2022年度の主な学校行事を記載する。今後、開催時期の変更や、感染症対策などによる中止の可能性もあり得る。

- 4月
 - ・始業式・入寮・入学式・新入生歓迎会・高鈴山ハイキング・地区別懇談会・事業所交流セミナー・中学校先生対象募集説明会
- 5月
 - ・スポーツテスト・寮部屋替え・卒業生工場訪問
- 6月
 - ・避難訓練・前期中間試験・寮祭・技能五輪旋盤県大会
- 7月
 - ・高校野球応援・水泳大会・都市対抗野球応援・オープンスクール・OB工場訪問交流会・技能五輪旋盤2次予選・若年者ものづくり競技大会・トヨタ学園交流会
- 8月
 - ・南極教室・オープンスクール
- 9月
 - ・部活リーダー研修会・前期期末試験・1年生社史見学・寮役員研修会・寮部屋替え・寮スポーツ大会・オープンスクール
- 10月
 - ・3年生工場実習開始・生徒会役員研修・オープンスクール・事業所交流セミナー・安全体感研修・卒業後5年交流会
- 11月
 - ・技能五輪全国大会見学・事業所交流セミナー・日専祭保護者会・後期中間試験・寮避難訓練
- 12月
 - ・入学試験・剣道初段受審者選考会・日専校マラソン大会・事業所交流セミナー・技能五輪交流会

会館照明設備全LED化工事完成

日本照明工業会より高濃度PCB使用安定器の交換指示をかわきりに、蛍光管製造・販売中止の情報より会館の照明設備の全LED化工事を7月末に実施しました。

費用は、102万3千円、予算内で完了しました。従来の照明設備と比較して大幅な省エネが見込まれます。



従来の照明設備



LED照明設備